

不能ナラシムルコトトシ且ツ本部員ニ於テハ

ハ本社ニ對スル要請書提出

ハ關係官廳ニ對スル陳情

ハ關係団体及知名士方面ニ對スル印刷物ノ發送

等ヲ決定シ内山重次一行ハ直チニ大阪へ向ケ出發セリ

又本部員大森元春ハ中世時代ニ於ケル教師タリシ豊島区西栗

鴨ニノニ一喬也柔道道場主松田秀五郎ヲ訪問シ本運動ト下

船ニ關シ船員ノ宿泊所トシテ道場ノ借用方ヲ申シ其承認ヲ

得テ二十七日午後八時頃船員三十五名ヲ集結セルカ當時

全道場ニ居合ヌタル時局協議會員大森(声(真心道場主))ヲ松

田ヨリ紹介セラレ大森一声ハ明朗會ノ本運動ニ賛意ヲ表シ

集合セル船員ニ對シ

運動振督ヲ賞揚シ目的貫徹ノ為メニ一致結束方ヲ激勵授

アリ次イテ大森元春ヨリ又全レク授授セリ

三本部並ニ宿泊所(高級下船員)ノ動靜

二十六日ハ重油團ニ於ケル會議ノ決定ニ基キ二十七日正式ニ

京浜ホテルヲ本部トシテ發表シ公衆運動ヲ開始シ日比、矢部

大森、三名、本部員トシテ全面的ニ指導、横浜、大阪、神戸、

ト、連絡ヲ執リ本総運動ニ入り一方小泉教雄指導員トナリニ

十七日以來東京横浜ヲ中心トスル下船高級船員(明朗會員)

ヲ其ノ住所及寄宿先ヨリ凡ソ手帳方法ヲ以テ前記道場ニ同

行シ合宿センメルニ至リタルカ、下船員待命、諸般船員及本

支社員ヲ合シテ(本部員三名ヲ除ク)二十七日午後六時現在

三十九名ニシテ小泉教雄之レカ指導ニ當リ一致結隊方ヲ懸望

シ一方會社ノ切崩ニ對シ嚴重警戒シツ、アリ集合セル船員中

ニハ本運動ノ経過等ヲ周知セズ殆ント強制的ニ連行セシレテ

ル状態ニシテ裏切ハハ迷惑ノ意思ヲ有スルモノアリ

宿泊者ノ氏名、職名等左、如シ